

さまざまな死から社会をよむ

「死」へのかかわりは
過去を「今」に埋込み
あらたな「今」を創り出す

令和7年

9月21日回

10:00~17:00

会場

国立歴史民俗博物館 講堂

社会をとらえる「死」という視点 —松木武彦さんを偲ぶ—
上野祥史(国立歴史民俗博物館)

継承される個別の死と社会

皇位の「継承」と過去の「記憶」 小倉慈司(青山学院大学)
江戸時代の由緒探求と記憶の広がり

天野真志(国立歴史民俗博物館)

社葬のあゆみ

山田慎也(国立歴史民俗博物館)

モニュメント化する集団の死と社会

集団の死とモニュメント 川村清志(国立歴史民俗博物館)
「過去」を埋込む先史アンデス社会

松本雄一(国立民族学博物館)

記憶なき過去に接点をもつ縄文社会

中村耕作(国立歴史民俗博物館)

生と死が重層する社会：コメント

多死社会からみるさまざまな死

土居 浩(ものつくり大学)

さまざまな「死」と社会

大西秀之(同志社女子大学)



企画展示「世界の眼でみる古墳文化」を準備する松木武彦さん(2018年3月)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

National Museum of Japanese History

さまざまな死から社会をよむ

「死」へのかかわりは
過去を「今」に埋込み
あらたな「今」を創り出す



築造当時のようすを復元した古墳(群馬県保渡田八幡塚古墳)

歴史をみること、それは過去をみること。過去は多くの死の積み重ねであり、死は社会を更新し、刷新する機会でした。

地位継承、遺産相続、遺品、供養、顕彰、追憶、故人の神格化、系図や家譜など、死へのかかわりは実にさまざまです。

このフォーラムでは、特定の死と不特定の死を対照して、「継承される個別の死と社会」と「モニュメント化する集団の死と社会」という二つのテーマで、さまざまな社会の「死」を眺めます。

さまざまな「死」に照らして、現代社会はどのように映るのでしょうか。

みなさんと考えてみたいと思います。



東日本大震災慰霊碑(杉の下遺族会実行委員会建立)

プログラム

10:00	開催挨拶 西谷大(国立歴史民俗博物館・館長)
10:05	社会をとらえる「死」という視点 上野祥史(国立歴史民俗博物館)
10:40	皇位の「継承」と過去の「記憶」 小倉慈司(青山学院大学)
11:15	江戸時代の由緒探求と記憶の広がり 天野真志(国立歴史民俗博物館)
11:50	社葬のあゆみ 山田慎也(国立歴史民俗博物館)
12:25	休憩
13:30	集団の死とモニュメント 川村清志(国立歴史民俗博物館)
14:05	「過去」を埋込む先史アンデス社会 松本雄一(国立民族学博物館)
14:40	記憶なき過去に接点をもつ縄文社会 中村耕作(国立歴史民俗博物館)
15:15	休憩
15:30	多死社会からみるさまざまな死 土居浩(ものづくり大学)
16:05	さまざまな「死」と社会 大西秀之(同志社女子大学)
16:40	閉会挨拶 山田慎也(国立歴史民俗博物館・副館長)
総司会	上野祥史・川村清志(国立歴史民俗博物館)

申込方法

当館ホームページまたは往復ハガキでお申し込みください。

申込期間

令和7年8月21日(木)～9月15日(月・祝)(往復ハガキ必着)

定員

先着240名(定員は予告なく変更する場合があります)

■当館ホームページ(<https://www.rekihaku.ac.jp>)

当館ホームページ → 展示・イベント一覧 → 開催予定

をご覧ください。



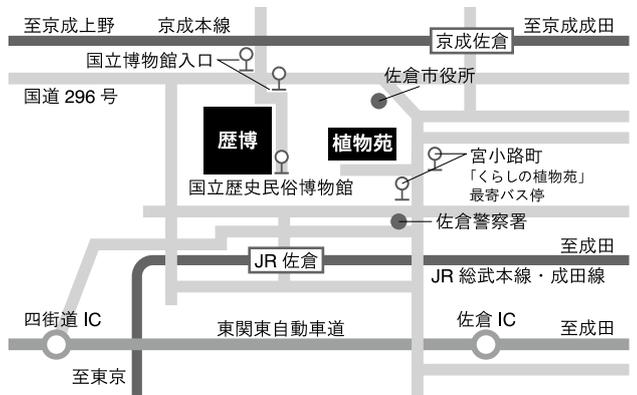
■往復ハガキ

「第122回歴博フォーラム 9月21日参加希望」と明記の上、①住所・②氏名(ふりがな)・③電話番号・④同伴者名(1名まで)を記入し、下記宛先にお送りください。

●申込先 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117

国立歴史民俗博物館広報課広報・普及係

※申込期間前の受付はできません。予めご了承ください。



会場 **国立歴史民俗博物館 講堂**
千葉県佐倉市城内町117

お問い合わせ TEL043-486-0123(代)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

